

中国2025省エネ及び新エネルギー自動車発展ロードマップ

2015年11月29日

内容要約



- 1 中国製造2025
- 2 省エネ自動車発展ロードマップ
- 3 新エネルギー自動車発展ロードマップ
- 4 インテリジェント&コネクテッドカー発展ロードマップ

『中国製造2025』戦略の意義





10×3年かけて中国を世界の製造業の発展を牽引する製造強国に作り上げることを目指す

中国が製造強国戦略を実施する最初の10年間の 行動綱領である

> 中国製造業の10大重点分野の 行動指針である

『中国製造2025』の主な構成要素―戦略方針及び目標



【戦略目標──建国100年の際に中国は世界の製造業の発展を牽引する製造強国になる

指導思想

- 1. 刷新主導──刷新主導型発展の道を歩む
- 2. 品質優先――質で勝つ発展の道を歩む
- 3. グリーン発展--エコ文明発展の道を歩む
- 4. 構造最適化──品質向上、効果増強の発展の道を歩む
- 5. 人材が基本――人材が牽引する発展の道を歩む

基本原則

- 1. 市場主導、政府誘導
- 2. 現在に立脚し、遠い将来を見据える
- 3. 全体推進、重点突破
- 自主発展、開放協力

3ステップの戦略目標

製造業全体の質を大幅に向 中レベルに到達する 上させ、革新能力を顕著に 増強し、情報化と工業化を 融合して新たな段階に進む

第2段落

世界の製造強国陣営の

2035年

第3段階

世界の製造強国の上位に 入る

建国100年

第1段階

世界の製造強国の仲 間入りをする

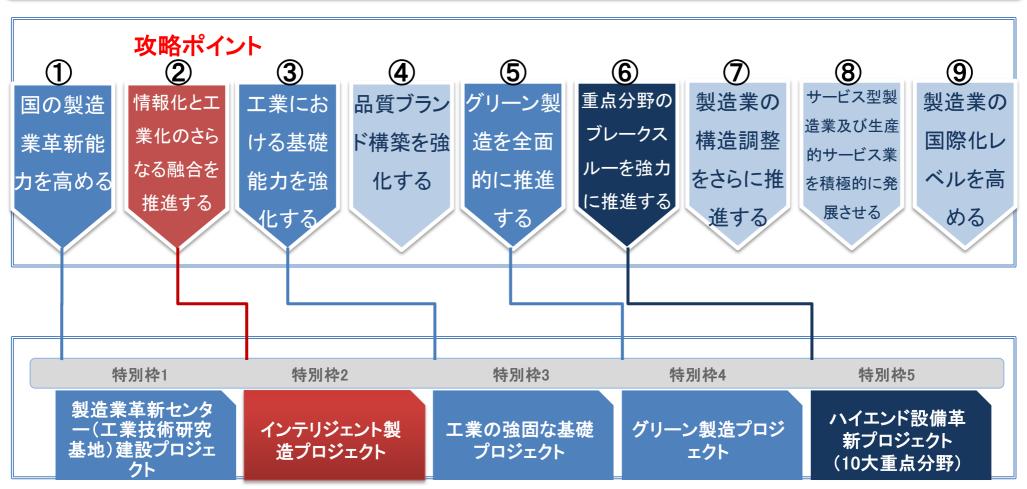
2025年

2020年

中国製造2025主な構成要素―戦略的任務及び重点



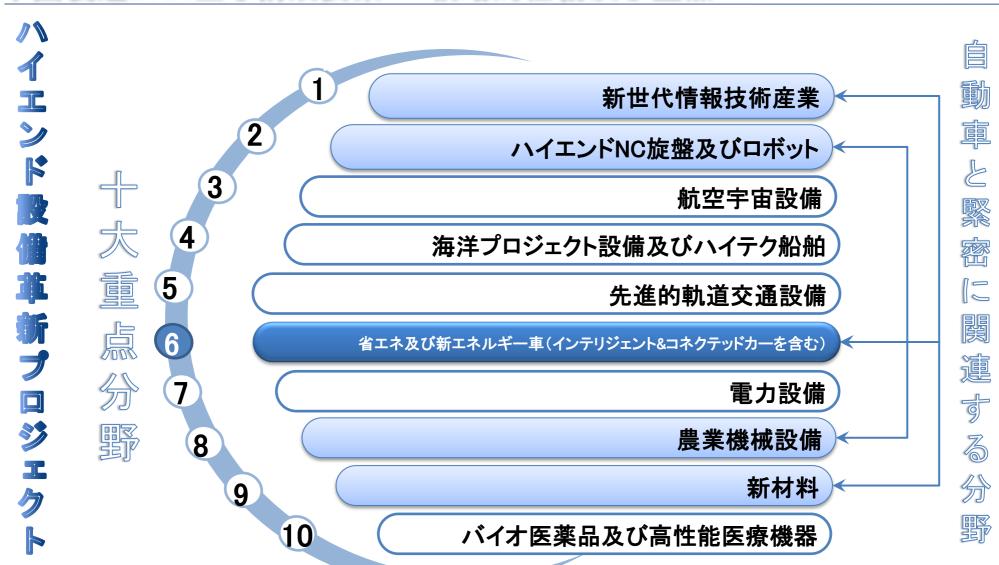
9大戦略的任務及び5つの特別枠:情報化と工業化の融合を攻略ポイントとし、インテリジェント製造を主要目標とする



主要目標

中国製造2025主な構成要素―戦略的任務及び重点





中国製造2025主な構成要素—戦略的支援及び保障 中国汽车工业协会 China Association of Automobile Manufacturers



8大戦略的支援及び保障措置

さらなる体制の仕組 みの改革

公平な競争市場環 境の構築

3

金融支援政策の 整備

4

財政税制支援の 強化

5

さまざまなレベルの 人材育成体制の整 備

6

中小零細企業政策 の整備

製造業対外開放のさ らなる拡大

8

企画実施メカニズム の整備

中国製造2025主な構成要素―戦略的任務及び重点



9大戦略的任務及び5つの特別枠:情報化と工業化の融合を攻略ポイントとし、インテリジェント製造を主要目標とする

- ・企業を主体とし、市場を案内役として、 政産官学ユーザが結びついた製造業革 新体制を整備する
- ・重要中心技術研究開発を強化する
- ・設計能力を向上、刷新する
- •科学技術の成果の工業化を推進する
- ・国の製造業革新体制を整備する
- ・標準体系構築を強化する
- •知的財産権の運用を強化する

国の製造業革新能力を高める

1

- ・新世代情報技術と製造技術の融合発展を加速し、インテリジェント製造を情報化と工業化を さらに融合する主要目標とする
- •インテリジェント製造発展戦略を研究、策定する
- ・インテリジェント製造設備及び製品の発展を 加速する
- ・製造工程のインテリジェント化を推進する
- •インターネットの製造分野における応用を進める
- ・インターネットインフラ建設を強化する

情報化と工業化のさらなる融合を推進する

2

中国製造2025主な構成要素―戦略的任務及び重点



9大戦略的任務及び5つの特別枠:情報化と工業化の融合を攻略ポイントとし、インテリジェント製造を主要目標とする

- ・我が国の「四基(重要基礎材料、中心基礎部品、先進的基礎工程、 産業技術基礎)工業」における基 確能力は低く、我が国製造業の 革新発展及び品質向上を制約す る問題点となっている
- •「四基」発展推進を統一的に計 画する
- •「四基」革新能力構築を強化する
- ・完成品機械メーカー及び「四基」 メーカーの協調発展の推進する

工業における基礎能力を強化する

3

- ・品質統制技術を向上させ、品質管理メカニズムを整備し、品質発展の基礎を固め、品質発展環境を最適化し、製造業品質の大幅向上の実現に努める
- ・先進的品質管理技術及び方法 を普及させる
- ・製品品質の向上を加速する
- ・品質監督管理体制を整備する
- ・品質発展の基礎を固める
- ・製造業ブランド構築を推進する

・先進的省エネ環境保護技術、工程及び設備の研究開発を強化し、製造業のグリーン改造グレードアップを加速する。低炭素化、循環化及び集約化を積極的に推し進め、製造業の資源利用効率を高める。製品の全ライフサイクルのグリーン管理を強化し、高効率、クリーン、低炭素、循環型のグリーン製造体制の構築に努める

- ・資源の高効率循環利用を推進する
- •グリーン製造体制を積極的に構築する

品質ブランド構築を 強化する

4

グリーン製造を全面的に推進する

5

2015/12/17

9

自動車産業の『中国製造2025』における戦略的地位



『中国製造2025』9大戦略的任務と自動車産業の強い関連

『中国製造2025』の9大戦略的任務

1

国の製造業 革新能力を 高める 2

情報化と工業化のさらなる融合を推進する

3

工業における基礎能力を強化する

(4)

品質ブラン ド構築を強 化する **(5)**

グリーン製 造を全面的 に推進する **(6)**

重点分野の ブレークス ルーを強力 に推進する **(7**)

製造業の構造調整をさらに推進する

8

サービス型製造業及び生産的サービス業を積極的に発展させる

9

製造業の国 際化レベル を高める

自動車産業

自動車は 製造業の 重要な革 新プラット フォーム である 自業化化すの受車情工融た要単のである。

自動車及 びリーン 設計 設 設 設 造 は を 引性が ある

自動車の 低炭電化、 電動化、 ント化は その目で である

自動車産 業の構造 調整は連 動性が強 い

自動車の 国際代業の 要である である

自動車分野の発展目標



省エネ ルギー 車

- 丿■ 製品は高効率、省エネ方向へと発展する
 - 企業はグリーンで低炭素の方向へと発展する
 - トップランナーのメカニズムが自己革新を誘導 する

新エネル ギー車

- 製品は電気駆動の方向へと発展する
- 企業は新エネルギーの方向へと邁進する
- 自ら制御可能な産業チェーンを形成、整 備する

インテリジェ ント&コネクテ ッドカー

- 製品は情報物理が融合する方向へと発展する
- 企業はインターネットをプラスする方向へと邁進 する
- 特色を育て、革新が競争のルールを誘導する

省工 本 車 発 展 目 標



総合的目標



社会的日標



経済的目標



技術及び産業の目標



製品目標



体制目標

乗用新車全体の石油消費量を 5L/100kmに減少させ、商用新車の 石油消費量を国際的先進レベルに 近づける

ユーザの省エネ、環境保護、安全 快適、情報、娯楽、インテリジェント、 低コスト自動車製品に対する需要 を満たす

国産省エネ車の市場シェアを40%に 到達させる

乗用車重要部品の国産化率を50% 以上に到達させる。商用新車石油 消費量を国際的先進レベルに近づ け、重要部品の国産化率を70%以上 にする

国産製品PP100の品質レベルが合 弁ブランドと肩を並べる

人気車種及び人気カーメーカーを 擁し、省エネ車販売台数上位10社 の中に5社が入る

2015 2020

乗用新車全体の石油消費量を 4L/100kmに減少させ、商用車の石 油消費量を国際的先進レベルに到 達させる予定である

省エネ車技術は石油資源消費総 量の制約を打破する

国産省エネ車の市場シェアを50%に到 達させる

乗用車重要部品の国産化率を60% 以上に到達させる。商用車全体の 輸出を20%にし、重要部品の国産化 率80%以上にする

国産製品PP100の品質レベルで世界をリードする

省エネ車販売台数上位5社の中に3 社が入り、国産製品の評判が合弁 ブランドを上回る

以上が入る

乗用新車全体の石油消費量を 3.2L/100kmに減少させ、商用車 の石油消費量で世界をリードする 予定である

温室効果ガス排出総量抑制需要、 環境保護需要を満たす

国産省エネ車の市場シェアを60%に到 達させる

乗用車重要部品の国産化率を 80%以上に到達させる。商用車重 要部品の国産化率を90%以上に 到達させる

世界の省エネ車上位メーカーに5社

2025 2030

省エネ車重点製品



石油節約内燃動力 乗用車 ハイブリッド 乗用車 省エネディーゼル 商用車 ハイブリッド 商用車 代替燃料 自動車

市場及び その規模 全シリーズ乗用車製品で普及応用を実現する

自家用車、商用車及び タクシー等の車種で大 規模応用を実現する 省エネ型セミトレーラ 牽引車等の大量発 展を主とし、全シリー ズ商用車の普及応 用を実現する

都市路線、長距離バス、物流車両等で大規模応用を実現する

天然ガス等の低炭 素燃料の商用車及 び乗用車における大 量応用を実現する

完成車の 技術レベル 1車両あたりの石油 消費量を繰り上げて 2025年乗用車石油 消費量基準目標値 に到達させる

総合モード省エネ効 果が同時期の従来 型動力より20%上回 る

省エネ効果が同時期のディーゼル商用車を10%上回る

都市モード燃料消費 が同時期の内燃動 力型車種における省 エネより25%上回る 炭素排出に換算して、 圧縮天然ガス商用 車は同クラスの省エ ネ型商用車の石油 消費量より10%下回 る

重要技術 の把握 ガソリンエンジン技術を グレードアップし、エネ ルギー損失を減少させ、 中圧エネルギー回収及 びアシスト技術等の製 品における普及応用を 実現する

重要部品の国産化 率が80%を超える 高効率動力アセンブリ、総合電子制御、軽量化等の省エネ技術でブレークスルーを起こし、大量応用を実現する

重要部品の国産化 率を100%に到達させ 天然ガス当量比による燃焼時熱負荷及びノッキングという難題を克服し、「国VI」排出基準を満たし、主要販売車種で大量応用を実現する

省工 本 車 重 要 基 盤 技 術



完成車集積技術

省エネ車シリーズ化開発、整合及び制御技術における難題を克服する

動力技術

小型化増圧直噴ガソリンエンジン燃焼及び制御技術、高効率商用車ディーゼルエンジン燃焼及び制御技術、乗用車先進的ディーゼルエンジン技術でブレークスルーを起こす

伝動技術

高効率自動変速機の開発及び制御技術でブレークスルーを起こす

軽量化技術

軽質材料、複合材料自動車部品の性能分析、成形及び接続等の技術的難題を克服する

低抵抗技術

低空気抵抗、低転がり抵抗、低摩擦等の技術的難題を克服する

新エネルギー車発展目標



総合的目標



社会的目標



経済的目標



技術及び産業の目標



製品目標



体制目標

乗用新車全体の石油消費量を 5L/100kmに減少させ、商用新車の 石油消費量を国際的先進レベルに 近づける 乗用新車全体の石油消費量を 4L/100kmに減少させ、商用車の 石油消費量を国際的先進レベル に到達させる予定である 乗用新車全体の石油消費量を 3.2L/100kmに減少させ、商用車 の石油消費量で世界をリードする 予定である

新エネルギー車の利用を現在の公用車、路線バス、タクシー等の公共サービス分野から個人用車、旅客輸送、貨物輸送等大多数の自動車利用分野に拡大する

国産ブランド新エネルギー車年間販売台数が100万台を突破し、国内市場の70%を占める

動力用電池、駆動モーター等の重要システムが国際的先進レベルに達し、国内市場シェアが80%となり、燃料電池重要材料大量生産の品質統制及び保証能力を実現する

新エネルギー車年間販売台数が自動車全需要量の5%以上を占め、規模が200万台前後となる

完成車立体配置、性能制御、エネルギー管理、軽量化等の完成車集 積重要技術でブレークスルーを起こす 国際的先進レベルに合わせた新 エネルギー車年間販売台数を300 万台とし、国内市場シェアを80%以 上とする

動力用電池、駆動モーター等の重要システムの大量輸出を実現し、燃料電池高品質重要材料、部品の国産化及び大量供給を実現する

新エネルギー車年間販売台数の 自動車全需要量に占める割合が 20%を超える 国産ブランド新エネルギー車が国内市場で絶対的な主導的地位を占め、輸出シェアが総生産台数の30%に達する

国際的先進レベルにある新エネルギー車部品メーカーを3社育成する

新エネルギー車年間販売台数の 自動車全需要量に占める割合が 大幅に拡大し続け、規模が1,000 万台を超える

自動車軽量化、情報化、インテリジェント化と並行して計画、融合発展、共同 革新を進め、新技術先導的応用の受け皿となる

2015 2020 2025 2030

新エネルギー車重点製品



プラグインハイブリッド車 (PHEV)

コンパクト型以上の乗用車の個 人用車、公用車及びその他の1 日あたりの走行距離が短い利 用分野で大規模応用を実現す る

全電動車 (EV)

中型以下の乗用車の都市家庭 セカンドカー、レンタカーサービ ス、公用車で大量応用を実現 する

燃料電池車 (FCEV)

都市個人用車、公共サービス 用車分野で区域小規模運行を 実現する

完成車の技 術レベル

市場及び

その規模

ハイブリッドモードにおける完成車石油消費量が従来型石油燃料車より25%以上石油を節約する

乗用車:法規モード完成車電力 消費量が11.5kWh/100kmを下 回る

路線バス: 法規モード完成車電 力消費量が3.2kWh/100km・tを 下回る 完成車耐久性が15万kmを超え、 燃料電池スタック使用寿命が 5,000時間を超え、当期政策の 下で従来型動力車種完成車の 全ライフサイクルコスト(TCO)よ りすぐれている

重要部品の 把握

重要部品の国産化率が80%を 超える

重要部品の国産化率が80%を 超える バイポーラプレート、膜電極等の 重要材料部品の製造工程を把 握し、重要材料及びセルスタック 製品の国産化率を50%とする

新エネルギー車重要基盤技術



完成車集積技術

多種の情報融合、エネルギー管理を中心とする完成車インテリジェント制御技術、 高集積度の動力システム電動化等の技術的難題を克服し、太陽電池完成車集 積応用技術を開発する

電気駆動技術

モーターと伝動装置、インバータ集積、高集積電気駆動システム専用変速機等の技術的難題を克服する

エネルギー貯蔵 技術

幅広い温度、長寿命、全固体電池、低コスト、高集積化電池管理等の技術的難 題を克服する

燃料電池技術

高信頼性膜、触媒及びバイポーラプレート、高信頼性供給システム並びにその 重要部品等の技術的難題を克服する

高圧電気技術

無線充電、高耐圧等級薄肉絶縁層等の技術的難題を克服する

2015/12/17 17

インテリジェント&コネクテッド車発展目標



総合的目標



社会的目標



経済的目標



技術及び産業の目標



製品目標



体制目標

車両関連スマート交通ソリューションを打ち出し、一般道の交通効率を80%向上させ、交通事故数を80%減少させ、交通 事故死亡者数を90%減少させ、自動車の二酸化炭素排出を約20%減少させる

スマート交通都市建設に着手し、インフラ建設における国産製品シェアを80%以上とする

自動車全ライフサイクルのデジタル化、 ネットワーク化、インテリジェント化を実 現し、自動車産業のモデルチェンジ、グ レードアップを暫定的に完成する

「死傷者ゼロ、渋滞ゼロ」を実現 することができるスマート交通シ ステムを暫定的に形成する

センサー、コントローラーが国際的先進レベルに到達し、アクチュエーター重要技術を把握し、国産品シェアを50%以上とする

国産インテリジェントトラックの大規模輸出を実現し、徐々に世界の販売台数の30%に到達する

センサー、コントローラー重要技術を把握し、供給能力は国産品規模の需要を満たす

供給量で世界トップ10のメーカー2社を擁し、製品品質は国際的先進レベルに到達する

国産品の標準、技術、市場の3つの側面に対する掌握を全面的に 実現する

自動車情報化製品の国産品シェアが50%に達し、DA、PA国産完成車シェアが40%を超える

自動車情報化製品の国産品シェアが60%に達し、DA、PA、HA国産完成車シェアが50%以上に達する

自動車情報化製品の国産品シェアが70%に達し、PA、HA、FA国産完成車シェアが50%以上に達する

企業を主体とし、市場を案内役とし、政産学官ユーザを緊密に結び付け、産業の垣根を超えて共同発展するインテリジェント&コネクテッドカー国産革新体制を暫定的に形成する

自ら制御可能な整備されたインテリジェント&コネクテッドカー産業チェーン及びスマート交通システムをほぼ完成する

ー部スマートシティーと高速道路 のスマート交通システムのモデ ル運営

2015

2020

2025

2030

2015/12/17 18

インテリジェント&コネクテッドカー重点製品



コネクテッドによる車 載インテリジェント情報 サービスシステム

運転補助レベルの インテリジェントカー

一部又は高度自動運 転レベルのインテリジ ェントカー

完全自動運転レベル のインテリジェントカー

スマートに 車で外出

市場及び その規模 V2X短距離通信機能 を一部実現し、情報 化率80%とする DAインテリジェント化 率 40 %、国 産 化 率 50% HAインテリジェント化 率 20 %、国 産 化 率 40% FAインテリジェント化率 10%、国産化率 40%(2030年までに)

PAを普及し、遠距離 サービスを実現し、情 報化率100%、インテリ ジェント化率70%とす る

完成車の 技術レベ ル インテリジェント運転補助を実現し、運転者に注意を促し、車両に関与し、運転者は車両に対して持続的制御を保つことができる

半自動又は高度自動 運転を徐々に実現し、 インターネット情報セキュリティ管理を実現する 自動運転を実現し、渋滞をなくし、総合エネルギー消費量を10%減少させ、排出量を20%削減し、交通事事故数を80%減少させ、交通事故死亡者をほぼゼロにする。

路線バス及びタクシー のスマート化管理を実 現する

重要技術 の把握 長距離通信、V2X短距離通信、ヒューマンコンピュータインタラクション

車載センサー

インテリジェント&コネクテッド管理及び隊列制御技術

人工知能、自動制御技術及びインテリジェント補助施設をさらに掘り下げる

スマートシティ及びスマート交通システム

インテリジェント&コネクテッドカー重要基盤技術



マルチソース情報融合技術

環境感知とマルチセンサー情報の融合、V2X通信モジュール集積、車載及びインターネット情報融合技術でブレークスルーを起こす

車両共同制御技術

完成車集積及び共同制御技術でブレークスルーを起こす

データセキュリティ及びプ ラットフォームソフトウェア 情報セキュリティ、システム健全性インテリジェント監視技術でブレークスルーを 起こし、中国版車載はめ込み式操作システムプラットフォームソフトウェアを構築 する

ヒューマンコンピュータインタ ラクション及びドライブアシス ト技術

ヒューマンコンピュータインタラクション、マンマシンドライブアシスト及び故障補完 技術でブレークスルーを起こす

インフラ及び技術法規

中国版の先進的インテリジェントドライブアシスト、V2X及びマルチネットワーク融合の技術標準体系及び試験評価方法を形作り、V2X通信標準体系に基づく道路インフラを整備する

ご清聴ありがとうことにおいました